

# IETF98全体概要

2017年5月12日

IETF98報告会

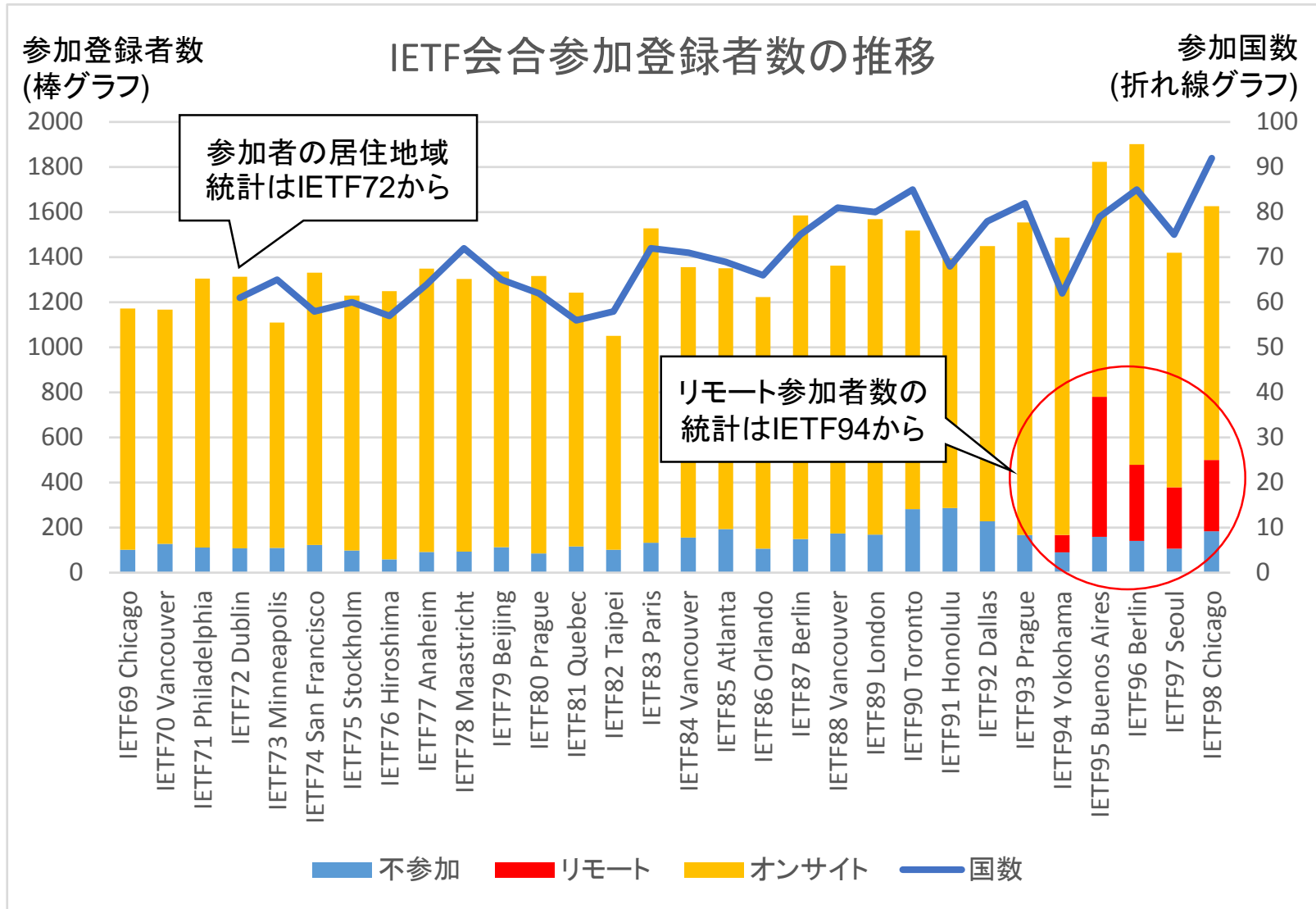
米谷嘉朗

<yoshiro.yoneya@jprs.co.jp>

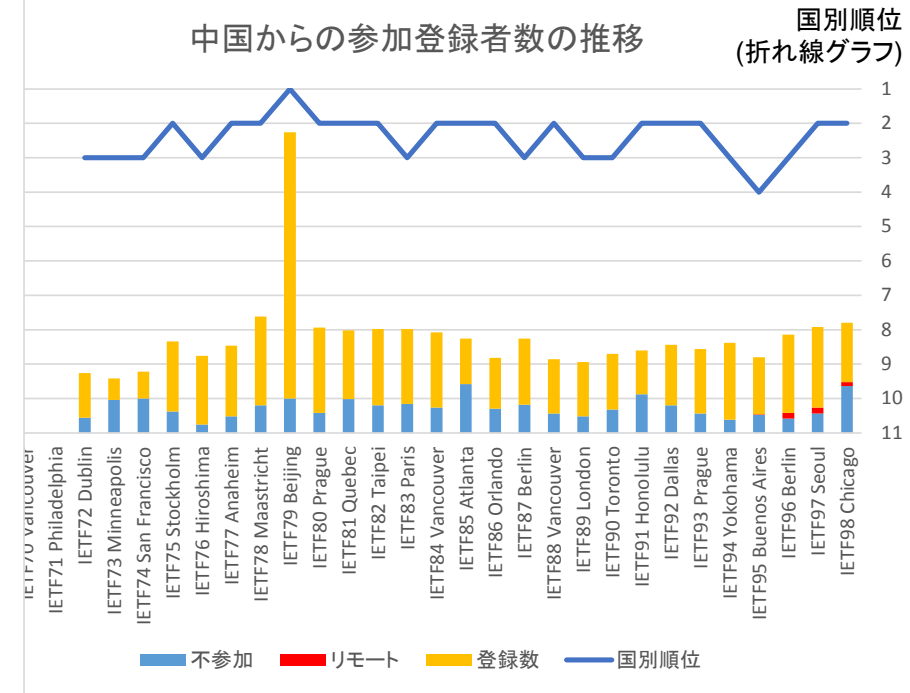
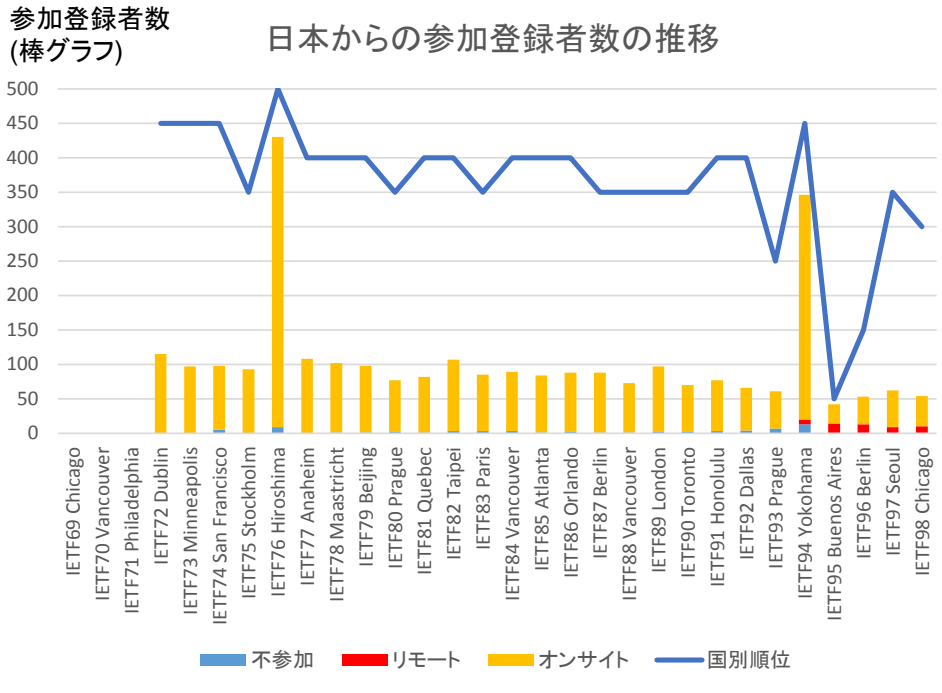
# IETFを取り巻く環境

IETF運営環境・体制の変化  
ローカルコミュニケーション

# IETF運営環境・体制の変化(1/6)



# IETF運営環境・体制の変化(2/6)



- 日本側の傾向
  - オンサイト参加者数減少、リモート参加者数漸増
- 某国側の傾向
  - オンサイト参加者数維持、リモート参加者はほぼなし
  - 不参加者数も一定数あり(VISA問題)

# IETF運営環境・体制の変化(3/6)

- 変化しているもの
  - セキュリティ・バイ・デザインが求められるようになってきている
    - エリア間のクロスレビューの重要性が増加している
    - 特定の国家政策・企業戦略に左右されず、グローバルに共通で安全な仕組みをプロトコルレベルから設計する
  - IETF運営に係るコスト(人的資源含む)が増加している【IASA2.0(※)】
  - IABやIESGはIETF内だけでなく、IETF外の標準化組織等とリエゾンしている
    - IETF参加者の行動規範やアンチハラスメントにも一定のガイドラインが必要となっている
  - オンサイト参加者の減少【IASA2.0】
    - 新興国からのリモート参加が増加している
    - リモート参加者が増えてもIETF運営費の収入は増えない
  - 開催地要件の複雑化【mtgvenue】
    - 参加者の宗教的・性的・政治的背景などによる出入国の制限までも考慮せざるを得ない状況になっている

(※) IASAはRFC 4071で定義されたIETF運営支援活動(IETF Administrative Support Activity)

# IETF運営環境・体制の変化(4/6)

- 変化していないもの
  - 参加登録者数
    - IETFにおける標準化活動は維持されている
    - 毎回、新規参加者も数十人いる
  - 主要な参加者
    - 10年以上継続して参加している人の割合が非常に高くなっている
    - 新規参加者が継続参加者になってくれなければ高齢化問題でいずれ活動が維持できなくなる
  - 主要なスポンサー【IASA2.0】
    - 現状、CISCO、Comcast、Ericsson、Juniperが長期スポンサーとなっている(※)
    - 新しいスポンサー選びは難航している模様

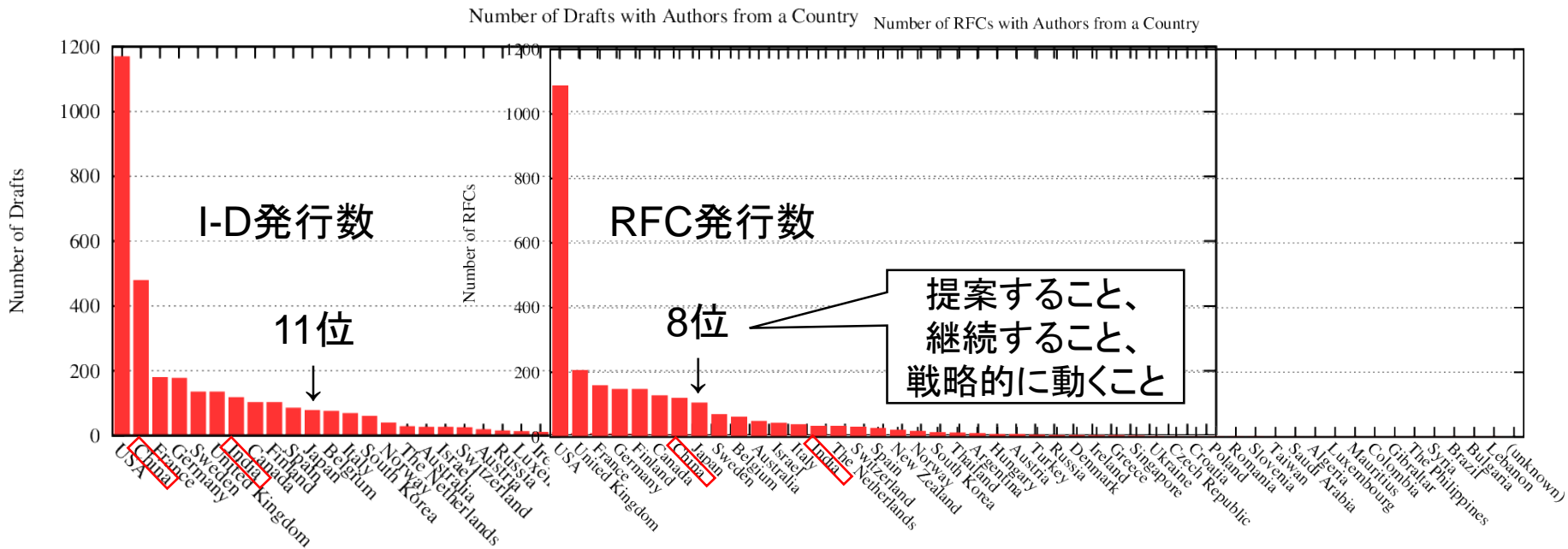
(※) <<https://iaoc.ietf.org/host-and-sponsorship.html>>

# IETF運営環境・体制の変化(5/6)

- IETFの維持に必要なもの
  - 標準化活動に継続して参加する人、およびその人の後継者の育成
  - 標準化活動を継続して支える資源(人・物・金)  
⇒いずれも硬直化
- IETFに継続して参加する人、支援する組織を増やすために必要なもの
  - 参加・支援動機(Motivation)の向上
  - IETF活動認知(Awareness)の向上  
⇒IETF報告会をそのための場としてもっと活用したい

# IETF運営環境・体制の変化(6/6)

- 日本からの貢献状況
  - WGチェア: 西田さん、高橋さんの2名
  - 最近のI-D発行数・RFC発行数



出典: <<http://www.arkko.com/tools/docstats.html>>



# ローカルコミュニケーション(1/3)

- IETF会合に参加している日本関係者(日本人、日本語で会話できる人、日本に在住している人など)間のインフォーマルコミュニケーション
  - 現地情報の共有
  - 新規参加者へのナビゲーション
  - 参加者間の懇親
  - 参加できなかったWGの状況共有
  - 興味深かった提案・議論の共有、背景や今後の推測
  - 参加者がカバーしているエリアの認知
  - 他の標準化組織の活動との関連性共有
  - など

# ローカルコミュニケーション(2/3)

- 現在運用中のオンラインコミュニケーションチャンネル
  - IETF96からSlackを利用開始
    - ietf-jp.slack.com
  - 口コミでの広がりのため、まだIETF参加者カバー率は高くない
- 目的に応じた適切なチャンネル選び(作り)はこれからの課題
  - 利便性・適時性・記録性などさまざまな様相がある

# ローカルコミュニケーション(3/3)

- get together
  - 現地での懇親会
  - ヒューマンネットワークの拡大
- IETF報告会
  - 前の会合のことだけでなく、次の会合のことも議論できるようにしていきましょう！